

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地	
明治東洋医学院 専門学校	昭和51年4月1日	谷口 和彦	〒564-0034 吹田市西御旅町7番53号 (電話) 06-6381-3811	
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地	
学校法人 明治東洋医学院	昭和53年2月10日	谷口 和彦	〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1 (電話) 0771-72-1231	
目的	あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設の教員を志望する者に対し、教員として必要な高度の専門教育を施し、すぐれた教員を養成し、もって学校養成施設における教育の充実、向上に寄与することを目的とする。			
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数
医療	医療専門課程	教員養成学科	2年(昼)	単位2100時間 (又は単位)
教育課程	講義	演習	実験	実習
	単位510時間 (又は単位)	単位420時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人	17人	3人	32人	35人
学期制度	■1学期：4月～7月 ■2学期：8月～11月 ■3学期：12月～3月	成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 3回の試験、及び出席を加味し評 価する	
長期休み	■学年始め：4月1日から5日 ■夏 季：8月1日から8月20日 ■冬 季：12月25日から1月5日 ■学 年 末：3月25日から31日	卒業・進級条件	開設科目、60点(可)以上をもつ て進級および卒業の条件とする。	
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 定期的にクラスアドバイザーが保 護者等と連携し連絡をとっている。 体調の理由の場合は、休学を薦める。	課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動(有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 はき養成施設、鍼灸接骨院 ■就職率※1 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% (平成27年度卒業者に関する平成28年4月時 点の情報)	主な資格・検定	あはき養成施設 教員資格	

中途退学の現状	■中途退学者 0名	■中退率 0.0%
	平成27年4月1日在学者	17名（平成27年4月入学者を含む）
	平成28年3月31日在学者	16名（平成28年3月卒業生を含む）
	■中途退学の主な理由	
	■中退防止のための取組	定期的なクラスアドバイザーによる個別面談の実施
ホームページ	URL: <a href="http://www.meiji-s.ac.jp">www.meiji-s.ac.jp</a>	

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

鍼灸師を養成する専門学校は、現時点で 90 校(2013.3 月)。毎年 5000 名前後の卒業生を輩出している。卒業生ははり師、きゅう師の国家試験を経て有資格者となる。本学科は、それらの専門学校の専門分野の教員を養成している。従って、教員には有能で信頼される鍼灸師を養成する上で不可欠な実践的かつ専門的な能力を育成することであり、それに相応しい教育課程を編成することが必要であり、そのためには下記の基本方針に基づいて企業等と連携することが重要である。

①鍼灸医療において治療に使用する鍼用具は、臨床効果及び安全性の質に拘る重要な要因であることから、

それらを製造する企業等と連携し、企業等が提供できる知識・技術・技能の内容に即した授業科目を選定し、

授業形態(講義・演習・実習)を決定する。

②①に基づいて、選定された授業科目の形態に応じて授業内容の要点を総合に調整した上で決定する。

講義：授業科目の教育目標を達成できるように授業内容を調整して決定する。

演習：講義内容を踏まえて関連する資料(論文等)を教材に企業等の担当者を交えてゼミナールを実施する。

実習：見学実習も含め、専門的な知識・技術等を修得するに必要な内容を調整して決定する。

実験：鍼灸臨床で使用する製品等に関する安全性、有用性、使用感、有害事象等についての内容を調整して決定する。なお、

実験は授業形態の実習に含むものとする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
竹藤 裕子	公益社団法人 大阪府鍼灸師会 理事
酒井 良和	さかい鍼灸院
矢野 忠	明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長
中村 満	明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科長
田口 辰樹	明治東洋医学院専門学校 教務部長
河井 正隆	明治東洋医学院専門学校 教員養成学科主任

### (開催日時)

第1回 平成28年 6月15日 15:00 ~ 15:50

第2回 平成28年12月23日 14:30 ~ 16:00

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針に基づいて、企業等との連携による実習・演習等の基本方針は、以下の通りとする。

①鍼用具の製造等に関して企業等が提供できる知識・技術・技能については、専門分野の教員を養成する上で必要かつ専門性を向上させるのに適切な内容とし、それに基づいて実習、実技、実験又は演習の授業内容を決定する。

②企業等内及び専門学校内で行う実習、実技、実験の内容については、安全性を確保することとする。

③学生には必ずレポートを課し、両者で評価する。

④実習、実技、実験、演習についての教育評価を行い、教育内容の充実に努める。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
はりきゅう応用学	鍼刺激(治療)、灸刺激(治療)に対する生体反応について、基礎的、臨床的研究成果に基づいて理解し、このことを踏まえて鍼灸治療が何故効くのかの作用機序について説明できるようにすることが教育目標である。その中ではり・きゅうの製造過程と品質管理及び性能等に関する事項について専門的に理解を深めることが企業等との連携による実習・演習の目的である。その中で。は	セイリン株式会社 株式会社 山正

	り・きゅうの製造過程と品質管理及び性能等に関する事項について理解を図るとともにそれらに関する相互の討論を通してそれぞれの目的が達せられるようにすること	
臨床実習	本科目は、附属鍼灸治療所において実地臨床を行うと共に学科学生の指導に当たり、自らの診療技術向上を図ると共に学生への臨床指導ができるよう基本的な臨床教育手法を修得することを目的としている。その中で臨床効果を上げる上でのはり・きゅうの種類と性能について臨床実践を通して明らかにすることが企業等との連携による実習・演習の目的である。	セイリン株式会社 株式会社 山正
卒業論文	本科目は、鍼灸療法に関する教育及び臨床に係る研究課題を設定し、調査・実験・臨床等によって卒業研究を行い、卒業論文を作成する。このことを通して研究のやり方の基本及び論文作成、発表等の基本的能力を修得すると共に研究マインドを涵養する。その中で鍼灸用具の製造あるいは性能等に関する研究課題を選択する学生の研究指導について企業等との連携により実践し、鍼灸用具の品質の向上や新しい鍼灸用具の開発に寄与することを目的とする。	セイリン株式会社 株式会社 山正

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ①専攻分野に関する研修等の内容が、双方にとって有益となる内容とする。
- ②研修等の内容については、連携する企業等の提供できる内容及び企業等の商品開発に資すると共に専門分野の教員を養成する上で必要不可欠な内容とする。
- ③研修等の成果は、学生教育、学内研修会、関係学会等に発表し、関連分野の発展に寄与することとする。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
上山 陽	学校法人 大阪学園 大阪高等学校 進路支援センター長
米川 修二	関西大学北陽高等学校
酒井 良和	さかい鍼灸院
矢野 忠	明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長
中村 満	明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科長
三澤 圭吾	明治東洋医学院専門学校 柔整学科長
田口 辰樹	明治東洋医学院専門学校 教務部長
藤井 義巳	明治東洋医学院専門学校 事務局長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.meiji-s.ac.jp](http://www.meiji-s.ac.jp)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [www.meiji-s.ac.jp](http://www.meiji-s.ac.jp)

授業科目等の概要

(医療専門課程教員養成学科) 平成28年度								
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習
○			外国語	国際情報化社会の中で英文の医学情報と接する機会や、外国人患者の診療機会の増加が考えられます。そこでこれらに対応できるように医学英語を学習することを目的とする。	1 ① ②	60	○	△
○			教育学概論	教育について、教育の意義や目的、教育方法と評価、教育制度など、教育に関する一般的な事項を学ぶことを目的とする。	1 ①	30	○	
○			教育心理	教育活動を効果的に行うための基礎的な心理学的法則および個人指導・人格治療を行うカウンセリングの基本的技法を学ぶことを目的とする。	2 ① ②	60	○	
○			教育方法	学習計画の作成、知識伝達の方法、教材・資料の活用方法など、教授を行ううえで必要な知識を学ぶことを目的とする。	1 通	90	△	○
○			教育実習	教職教育のまとめとして実際の教育現場に入り、専門学校の各科目担当教員の指導で授業の見学および実地の授業を行う。	2 ①	90	○	
○			人体形態学論	顕微鏡で正常な主要組織や器官を観察して組織学的な特徴を学ぶ。また、主要な器官の病変を顕微鏡により観察して、病理学的な観点から正常とは異なる組織学的变化を学習し、病態の鑑別などを学ぶことを目的とする。	1 ① ②	105	△	○
○			人体機能学論	実習を通してより人体の機能を理解し、鍼灸の作用を考察し、生理機能の理解を深めることを目的とする。	1 ② ③	105	△	△
○			社会医学特論	医療従事者として必要な医の倫理や衛生・公衆衛生、リハビリテーションについて学ぶことを目的とする。	2 ② ③	60	○	△
○			臨床医学論	各臨床科目の診断、治療に関する最新の内容を学ぶことを目的とする。	2 ② ③	60	○	△
合計				9科目	660 単位時間 ( 単位)			

授業科目等の概要

(医療専門課程教員養成学科) 平成28年度								
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習
○			はりきゅう応用学	鍼刺激(治療)、灸刺激(治療)に対する生体反応について、基礎的、臨床的研究成果に基づいて理解し、このことを踏まえて鍼灸治療が何故効くのかの作用機序について説明できるようにする。	2 ① ②	75	△	○
○			はりきゅう臨床学Ⅰ	臨床教育を行う上で必要な、鍼灸診療の基本的な方法を学ぶことを目的とする。	1 ① ②	105	△	△
○			はりきゅう臨床学Ⅱ	高度で専門性の高い鍼灸診療について学ぶことを目的とする。	2 通	105	△	△
○			あマ指応用学	手技療法による生体刺激により、生体に及ぼす影響を生理学的な方法により学ぶことを目的とする。	1 ② 2 ① ②	75	△	○
○			あマ指臨床学Ⅰ	手技療法を臨床へ応用する方法について学ぶことを目的とする。	1 ② ③	75	△	○
○			あマ指臨床学Ⅱ	あんま、マッサージ、指圧のうち、特に指圧を取り上げ、指圧操作の実技を交えて考察・検討し、適応する疾患について診察から治療方法まで学ぶことを目的とする。	2 ② ③	105	△	△
○			東洋医学特論	東洋医学の診察法、治療法、経穴についての理解を深めることを目的とする。	1 ② 2 ① ②	90	○	△
○			臨床実習	附属鍼灸治療所において実地臨床を行うと共に学科学生の臨床指導に当たり、自らの診療技術の向上を図ると共に学生への臨床指導ができるよう基本的な臨床教育手法を修得する。	1 ② ③ 2 通	720		○
○			経営管理学・統計学	統計学の基本的な知識から、実験の目的に応じた実験計画のたて方や測定データの処理を行う統計処理能力を演習をはじめて学ぶことを目的とする。	2 ①	30	○	
合計				9科目	1380 単位時間 ( 単位)			

授業科目等の概要

(医療専門課程教員養成学科) 平成28年度								
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習
○			卒業研究	鍼灸療法に関する教育及び臨床に係る研究課題を設定し、調査・実験・臨床等によって卒業研究を行い、卒業論文を作成する。このことを通して研究のやり方の基本及び論文作成、発表等の基本的能力を修得すると共に研究マインドを涵養する。	2通	60	○	
合計				1科目		60 単位時間 ( 単位)		